

30 向環第 7380 号
平成 30 年 11 月 12 日

向日市廃棄物減量等推進審議会
会長 山川 肇 様

向日市長 安田 守

ごみ減量を推進するための方策について（諮問）

向日市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第 11 条の規定により、ごみ減量を推進するための方策について諮問いたしますので、ご審議を賜り答申いただきますようお願いいたします。

記

（諮問理由）

本市では、ごみ減量に係るこれまでの取り組みによって、家庭から出される可燃ごみの一人一日当たり排出量は、徐々に減少を続けてまいりました。

しかしながら、近年、燃えるごみの中に、本来リサイクルされるべき空き缶やペットボトルなどの不適切なごみ、他自治体の住民が持ち込んだ越境ごみ、さらには事業者が自らの負担で処分すべき事業系ごみなどが混入している状況が見受けられ、これら状況の変化への対応や、現在は燃えるごみとして処理している古紙類など再生可能なごみの分別推進など、新たに取り組んでいくべき課題があると考えております。

このほかにも、資源物を回収する分別収集ステーションの配置についても住民のみなさまからご意見が寄せられており、これからの分別収集ステーションのあり方の検討が課題となっております。

これらの課題について適切に対応することができれば、更なるごみの減量につながるものと考えております。以上を踏まえて、今後のごみ減量を推進するための方策についてご審議いただきたく諮問いたします。